

〔八丁原=6月26日〕大分県玖珠郡九重町湯坪に建設を進めてきた九州電力株式会社八丁原地熱発電所は6月24日官庁検査を終わり、営業運転を開始した。

# 八丁原地熱が運開

## 国内最大の地熱発電所

### 多くの困難を克服し工事完遂

当社は同発電所建設に関して、タービン据付および計装工事を三菱重工業株式会社長崎造船所、発電機据付および電気系統工事を三菱電機株式会社、配管関係を九州電力株式会社からそれぞれ受注し、50年9月から先行工事に入った。翌51年3月には八丁原建設所を設置して本格的な工事を開始し、同年10月15日台座式、12月7日中間検査、52年4月7日通気と工事を進めてきた。

この間、現場が山間僻地にあるため、機械搬入の不便さ、冬季の積雪凍結など気候条件の厳しさ、そして国立公園内に位置するための環境保全上の制約など、多くの困難に遭遇し、また、今年3月には飯田所長が病氣療養のため現場を離れ、急きょ本店から福嶋課長が派遣されるといったアクシデントがあったが、石井、臼杵、伊藤各所長代理以下、全所員が一丸となって工事に取組み、みごと完遂させたものである。運開に当

たり福嶋所長代行は「悪条件の中で全員が力を合わせて積極的に工事に取組んでくれた。この工事に従事した全員に心から感謝したい」と語った。

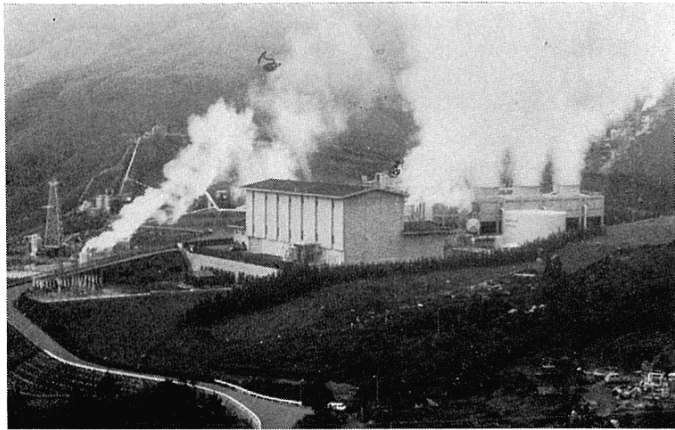
八丁原発電所は、九州では大岳発電所（出力1万1,000KW）に次いで2番目、全国で5番目の地熱発電所。最大出力5万KWの能力をもつが、8本の蒸気井のうち、まだ掘削中のももあるため、2万3,000KWで営業運転開始となった。それでも出力は国内最大。年内には掘削工事を終了させ、5万KWまで出力をアップする予定である。

### 日常保修体制に入る

#### 八丁原大岳併せて担当

当社は、九州電力八丁原発電所の日常保修工事のため、7月1日大分事業所の所属で八丁原出張所（青木澄男所長）を開設する。同出張所は、大岳発電所の日常保修も併せて担当し、このため大岳出張所は6月30日で廃止される。

また、八丁原発電所の運開にともない、6月30日付で八丁原建設所を廃止する。残工事については、7月1日開設される八丁原作業所（工事部所属、臼杵孝所長）が引継いで行っていく。



営業運転を開始した八丁原地熱発電所



感謝状を授与される原所長

## 大分共同火力(俵)殿より感謝状

### 発電所の効率的運転に寄与

〔大分共火=6月16日〕当社大分事業所大分共火出張所は、このほど大分共同火力株式会社より感謝状を授与された。

大分共火出張所は、48年大分共同火力発電所の運転開始以来、保守点検および定期修理業務に従事しているが、この間、安全面において重大災害ゼロを続けるほか、工事面においても、2号機の無事

故連続運転ならびに1号機定期修理の工期短縮など、発電所の効率的運転に寄与するよう努力してきた。

この努力が認められて今回の表彰となったもので、6月16日、橋本大分共同火力株式会社社長より、当社大分共火出張所の原義視所長に対し感謝状と副賞が授与された。

### — 喜界島・対馬・北九州 —

## 発電用ガスタービン据付相次ぐ

当社ではこのところ発電用小型ガスタービンの据付工事が相次いでいる。

すでに長崎県の対馬での工事は終了し、現在、奄美諸島の喜界島と北九州市の2ヵ所で工事をやっている。

これらは、いずれも株式会社神戸製鋼所高砂事業所から受注したもので、出力1,100KWの発電用ガスタービンの据付である。

対馬での工事は、九州電力株式会社「移動発電所」として導入した2基のガスタービンの据付で、唐津事業所の増川正俊さん、西浦光範さんが工事に当たり、7月3日工事を終了している。このガスタービンはけん引車とコンビになっており移動が可能。移動発電機は各業界で使用

されているが、今回導入したのは、通産省から正式に「発電所」として認可されたもの。九州電力管内の離島発電所が定期修理や事故で停止したときなど、必要に応じて移動配置される。

また、鹿児島県奄美諸島の喜界島では、九州電力八丁原新喜界発電所に備えられるガスタービン1基の据付工事をやっている。当社では、今村清行さん、松尾信さんの2名を派遣して工事に当たっており、7月末には完了する予定である。

一方、北九州の工事は、同市若松区にある西部瓦斯株式会社北九州工場の自家発電用ガスタービン2基の据付で、これには北野静雄さん、山口正信さんが当たっており、工期は7月末までの予定である。

### <新小倉4号>

## 5月25日 立柱式

### 3号機と並行して施工

〔新小倉=6月1日〕北九州市小倉北区の九州電力株式会社新小倉発電所では、さる5月25日、4号ボイラの立柱式が行われた。

同発電所では、現在3、4号機の建設が進められており、当社も昨年8月から3号機工事に取組んでいる

が、このたびさらに、三菱重工業株式会社より4号機のボイラ据付を受注、さる5月25日には立柱式を行い新小倉建設所（速水所長）の田中章二郎所長代理、松本幸生主任の指揮のもと、ボイラ鉄骨建方を開始した。

4号機は3号機と並行して工事が

進められるが、両機とも仕様は同じで、出力は60万KWと九州最大のユニット。硫黄分を含まないLNG専焼となるほか、窒素酸化物対策として全量排煙脱硝装置の採用、温水対策として水中放流方式の採用など環境保全に力を入れている。

運転開始は、3号機が53年10月、4号機が54年7月の予定。



安全を祈願する神宮司常務

### <豊前1号機>

## 通気式行う

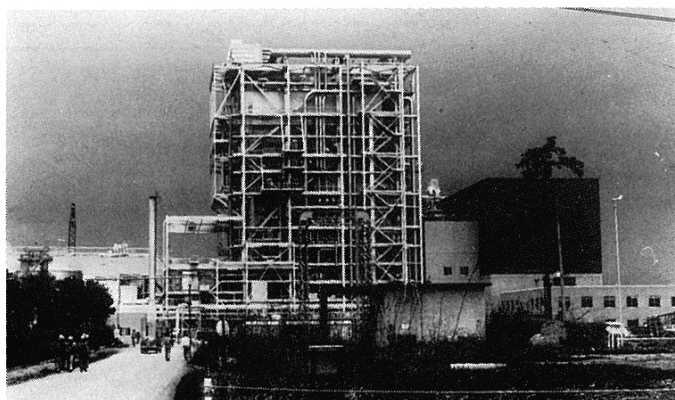
### 工事は大づめに

〔豊前=6月10日〕当社は、福岡県豊前市八屋の九州電力株式会社豊前発電所1号機（出力50万KW）建設工事をやっているが、6月10日通気式を終え、工事は大づめの段階に入った。

豊前1号機建設に関して当社は、タービン関係を東京芝浦電気株式会社から、ボイラ関係を石川島プラント建設株式会社からそれぞれ受注し

たのをはじめ、発電所の主要機器、補機類その他付属設備の据付を受注し、51年1月豊前建設所を開設して以来、久富所長指揮のもと、当社技術陣が鋭意取組んでいる。

さる4月28日には火入れを終えており、通気を迎えて工事は大づめの段階に入った。今後、試運転を続け運転開始に向けて調整作業が続けられる。



通気式を終え工事は大づめに入った豊前1号機

## 主要人事異動

- 〔5月2日〕
  - ▷工事部付<副長待遇>=技師補 坂井要輔（北九州エル・エヌ・ジー建設所長代理）
  - ▷工事部付<主任待遇>=技師補 部谷勝照（北九州エル・エヌ・ジー建設所主任）
- 〔6月1日〕
  - ▷玄海事業所副長=技師補 松尾悟（玄海事業所主任）
  - ▷新小倉建設所主任=技師補 松尾孟（小倉事業所主任）
  - ▷大分事業所主任=技師補 森宗久（豊前建設所主任）
  - ▷大分事業所主任=技手 塩地繁三（大分事業所）
  - ▷大分事業所主任=技手 村田語（大分事業所）
  - ▷工事部保修工事課主任=技師補 石川広光（工事部保修工事課）
  - ▷技術部設計課主任=技手 弥永孝

- 之（技術部設計課）
  - ▷営業部営業課主任=主事補 弘島泰典（営業部営業課）
  - ▷戸畑共火建設所主任=技手 野上英雄（戸畑共火建設所）
- 〔6月16日〕
  - ▷大分事業所大分共火出張所主任=技師補 岩丸和明（小倉事業所主任）
  - ▷大分事業所主任=技師補 藤原孝（大分事業所大分共火出張所主任）
- 〔6月20日〕
  - ▷石川建設所主任=技師補 中塚徳実（新小倉建設所主任）
  - ▷新小倉建設所主任=技師補 猪木敬（八丁原建設所主任）
- 〔6月28日〕
  - ▷工事部付<部長待遇>=福永俊彦（九州電力より出向）
- 〔7月1日〕
  - ▷経理部長心得=囑託副参事 大屋隆一（経理部長代理）

- ▷工事部付<八丁原作業所駐在>=技師 福嶋徹（八丁原建設所長代行課長待遇）
- ▷工事部八丁原作業所長=技師補 臼杵孝（八丁原建設所長代理）
- ▷大分事業所八丁原出張所長=青木澄男（大分事業所大岳出張所長）
- ▷戸畑共火建設所長代理=技師 石井留次（八丁原建設所長代理）
- ▷工事部八丁原作業所主任=技師補 森田峯雄（八丁原建設所主任）
- ▷工事部八丁原作業所副長=主事補 伊藤俊雄（八丁原建設所長代理）
- ▷総務部労務課副長=主事補 月田清剛（玄海事業所副長）
- ▷玄海事業所副長=主事補 石川英憲（唐津事業所主任）
- ▷唐津事業所主任=主事補 酒井克章（大村事業所主任）
- 〔7月5日〕
  - ▷石川建設所長代理=技師補 坂井要輔（工事部付副長）